

Tour of the Alps

Stage 1 / San Lorenzo Dorsino – San Lorenzo Dorsino 148.5 km

シモーネ・ラッカーニはステージ優勝者ジュリオ・チッコーネから 20秒遅れの 23位



開催日：4月21日

コース：Stage 1 / San Lorenzo Dorsino – San Lorenzo Dorsino (148,5 km)

参加チーム：16チーム (WT 8、PT 5、CT 2、NT 1)

出走選手数：112人

JCL TEAM UKYOメンバー：アレッサンドロ・ファンチェル、マルク・カベド、石橋学、ニコロ・ガリッポ、小林 海、シモーネ・ラッカーニ、ナホム・ゼライ

JCL TEAM UKYO監督：マヌエーレ・ボアロ

レース公式サイト：<https://www.tourofthealps.eu/it>

JCL TEAMUKYO公式サイト：<https://jcl-team-ukyo.jp/>

Photo：<https://x.gd/JKOUuN>



予想通り、ツアー・オブ・ジ・アルプスの第1ステージはすでになんげに厳しい内容だった。サン・ロレンツォ・ドルシーノ発着の148.5kmのコースでは、多くの登りが待ち受けている。スタート直後からアップダウンがあり、アンダロでは最初の中間スプリントが設定されていた。長い下りの後、スポルミノレの登り(4.1km・平均勾配7.7%)を経て、選手たちはカンポデンノへ。54.4km地点ではクレスで2つ目の中間スプリントがあり、ここではボーナスタイムもかかっていた。その後、緩やかな上り坂が続く形でディマロへ進み、1級山岳のカンポ・カルロ・マーニョ(14.5km・6.3%)の登坂が始まる。そこからピンツォーロ方面へ長くテクニカルな下り、続いて緩い下りを経て2級山岳のパッソ・デル・ドゥローネ(6.3km・8%)が待ち構えていた。

その頂上からフィニッシュまでは残り20km。うち11kmはスピードの出る下りで、残り9kmは登り。最後の1.5kmは7%の勾配が続いた。

JCL TEAM UKYOは、アレッサンドロ・ファンチェル、ナホム・ゼライ、シモーネ・ラッカーニのチームリーダーを守る戦略で挑み、マルク・カベドと小林海は逃げに乘る可能性も視野に入れていた。

この日のスタート前には、今朝逝去されたローマ教皇フランシスコを追悼して1分間の黙祷が行われた。スタート直後、トンマーゾ・ネンチーニ(ソリューションテック=ヴィーニ・ファンティーニ)とダニエル・ガイスマイヤー(チーム・フォアアールベルク)がアタックし逃げを試みたが、数kmで吸収された。モルヴェーノ通過中に、フィンレイ・ピッカリング(バーレーン・ヴィクトリアス)、アンドリュウ・オーガスト(イネオス・グレナディアーズ)、ダヴィデ・バイス(ポルティ・ビジットマルタ)がアタックに成功し、メイン集団に差をつけた。最初の中間スプリント(アンダロ)ではバイスが1着で通過し、ポイントを獲得。



17km地点では、エマヌエル・ツァンガーレ(チーム・フォアアールベルク)が集団から飛び出し、先頭にブリッジを試みたが、最大で45秒差まで詰めるも徐々にタイム差が縮まり、ス波尔ミノーレの登りでさらに差が開き、最終的には集団に吸収された。

クレスの中間スプリントではピッカリングが1位通過。JCL TEAM UKYOの全選手を含むメイン集団は、リーダー候補を複数擁するリドル・トレックが3分差程度でコントロールする。

カンポ・カルロ・マーニョの登坂では差が最大 3分40秒に。ここでピッカリングがKOMポイントを獲得。小林海は登りの序盤で集団から遅れてしまったが、日本チャンピオンとして粘り強く走り続けた。

ドゥローネ前の下りでは、リドル・トレックとレッドブル・ボーラ・ハンスグローエがハイペースで差を縮めた。最後のKOMの登り口では、逃げグループとの差はわずか1分。

残り3.5kmの登りで、エディ・ダンバー(ジェイコ・アルウラ)がアタック。ピッカリングに追いつき、2人で逃げを続けたが、まもなく集団に吸収された。登りの終盤ではチッコーネがアタックを試みたが、成功せず。

直後にポール・ダブル(ジェイコ・アルウラ)が動き、エクアドルのクライマー、アレクサンダー・セペダ(EFエデュケーション・イージーポスト)がそれを追い、ダブルを突き放して単独先頭へ。

後方ではポール・セイシャス(デカトン AG2Rラモンディアル)がアタックし、ダブルと合流して追走 2人組を形成。下りではマイケル・ストーラー(チューダー・プロサイクリング)が抜け出して追走トリオが形成されたが、いずれも最後の登りの前に吸収された。セペダは残り12秒のリードで最後の登りに突入。

しかしそれも長くはもたず、2km登ったところで吸収された。その後マッティア・バイス(ポルティ・ビジットマルタ)が飛び出し、12秒のリードを得るが、リドル・トレックとレッドブル・ボーラ・ハンスグローエの牽引により残り2kmを切って吸収。



ラスト1kmで再びセペダがアタック。セイシャスとチッコーネがそれに反応。集団は近くにいたが、ロマン・バルデが早めのスプリントを開始、フェリックス・ガル(デカトロン AG2Rラモンディアル)とチッコーネがその後ろに。最後のカーブでイタリア人クライマーのチッコーネが強烈なスプリントで先頭に立ち、ステージ優勝を果たした。その後方で、シモーネ・ラッカーニはセペダの 700m前のアタックまで先頭集団に食らいついていたが、最終的には20秒遅れの23位でフィニッシュ。

ガリッボは28位で、チッコーネから1分49秒遅れでゴール。その他の JCL TEAM UKYOの選手たちは、いずれも6分以上遅れてのゴールとなった。

残念ながら、日本チャンピオンの小林海はタイムアウトで完走扱いとはならず、レースからの除外となった。

明日はメッツォロンバルドからヴィピテーノまでの 178km。再び厳しいステージが待っている。

ステージ後のラッカーニのコメント

「今日はずっとハイペースな展開でした。ずっと総合勢の先頭グループに入れていたけど、残り 500mのアタックには対応できなかった。でも、23位という結果には満足しています。こんな大きなレースでこのレベルで走れているのは自信になります。明日以降もこの調子を維持して頑張ります」



STAGE 1 TOUR OF THE ALPS RANKING:

1. Giulio Ciccone (Lidl-Trek) in 3h42'10"
2. Felix Gall (Decathlon AG2R La Mondiale Team) s. t.
3. Paul Seixas (Decathlon AG2R La Mondiale Team) s. t.
23. Simone Raccani (JCL Team Ukyo) + 20"

STAGE 1 TOUR OF THE ALPS GC:

1. Giulio Ciccone (Lidl-Trek) in 3h42'00"
2. Felix Gall (Decathlon AG2R La Mondiale Team) +4"
3. Paul Seixas (Decathlon AG2R La Mondiale Team) +6"
23. Simone Raccani (JCL Team Ukyo) + 30"

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING株式会社
田村 遼(広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
増田 深雪(広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp

